

職員の皆様、「あけましておめでとうございます。」平成 30 年も宜しくお願い致します。

施設開設後、15 年間の道のりを考えた時・絶え間なく組織のなかで嵐や風が巻き起こり、変化し続けてきたことでした。

この変化を成長としてとらえ「変わる勇氣、変える勇氣」と表現し、職員に対し頻繁に訴えてまいりました。たとえ少しずつでもいいから、組織として常に前進し、進化していかなければいけない。もし経営者がこのままがいいと思うとしたら、すぐに停滞してしまう。もちろん職員にとって、日々やっていることを変えるのも、変えられるのも辛いと思います。でも、だからこそ変える勇氣が自分自身の為にも、重要かつ大変大事な事だと思います。「世の中は常に変化しているし、又ご利用者の身体も絶えず変化し、求めるものも変わっていきます。」だからこそ、いつときも停滞してはいけない。

変わることに人間は誰だって抵抗感があるが、それでも変化する勇氣を持たないといけない。常に新しいことに挑戦し続けていかないと、人も組織も成長しません。

自身の成長は、「明日」を生きるのは他でもない自身です。人生をやり直すなどありません。やり直しがきかないであれば、「生き直し」はできます。希望をつなぐ為には、五感全部で受け止め方を変え、「幸せの方程式」にとにかく考え、変化しながら動かし、時間はそう残されていない事を知ることです。

平成 30 年度法人目標

■社会福祉法人制度改革に於ける経営組織改革の強化を図ります。

組織改革による経営組織の内部統制システムを実行するために、透明性を図ります。

①法人管理体制の強化

(組織図・行政通知の意義・役員に求めるもの・理事会機能性・評議員会機能性)

②法令やルールの遵守

(法律等の把握・倫理への意識・法人規定ルールの整備・役職業務の明確化)

③情報管理と共有

(情報の管理・情報の共有)

④計画実行のプロセス

(経営目標の管理・財務強化の取組み・労務管理の取組み・働き方改革の取組み・人材育成の取組み・人材確保の取組み・サービス向上の取組み・人事考課制度の取組み・内部監査の取組み) $\frac{\text{付加価値}}{\text{働く時間}} = \text{生産性}$

⑤事業所管理体制

(事業所の事業計画及び内部組織体制管理)

⑥地域に於ける公益的な取組み

(子どもへの無償支援計画を図ります)

⑦人材確保の強化

(外国人技能実習生の受入促進及び経験者の採用に積極的に取り組みます。)

■問題の決定や改善は、手順を踏んで決定とする。手順を踏まない場合は、決定としない。更に、私達の仕事は、日常の業務上の決まりごと等を遵守する事で、利用者・職員を守る事が責務です。

①経営者への依存から現場で考える体質といたします。組織上の縦・横の連携体制を図ります。

↓事業所の問題は事業所で考え、事業所で解決しケジメが出来る体質とする。

↓事業所で解決できない問題は、執行役員会議(内部統制)で審議し決定とする。

PDCAサイクル・5W2Hの基本 → 全体の問題として伝達広報とする。

○日常業務上やらなければならない業務や決定事項、提出期限を遵守しなければ組織上停滞となる為遵守する。しない場合は、対等評価(昇給・賞与等)を実施します。

■快適な職場労働環境の整備を図ります。責任者はこの事に意識を持つ行動者であれ。

①快適な職場環境は、労働時間を守る事、そして守らせる事。

②快適な職場環境(やさしさ・思いやり)は、動作・言葉・職場が美しい事。

③現状を正しくみる意識をする事。改善点を見つけ解決する事。

④快適な職場労働環境をつくり出す為には適切な指導をする事。

⑤快適な職場は、ルールを守る守らせることによって、労働環境が自身に自由を与える。

■新入職員は素直であれ、先輩は良い指導者であれ、責任者は丁寧な伝達者であれ。

この事が自身のキャリアを積み、物事を正しく判断できる行動者となる。

①伝達が上手い出来ない事を互いに人のせいしない事。

②自分自身の言葉で表現できる事が、成長できる職員である事。

③常に問題と向き合う姿勢がなければ物事を正しく判断できない。できる職員である事。

■仕事をする事に於いて、その意味の前後を正しく説明する事、そして理解する事によって、より良い支援となります。法人の職員は全てに「正しく説明」、そして理解する事で職場が楽しい職場風土となります。

①権利や主張する前に仕事を正しく理解し行動して健全な職場にする事。

■専門職として社会から認められる職業人となる事。

①自分たちが変わり、成長しなければ社会の評価は変わらない。

②社会の評価に説明がなければ給与も上がらない。社会が認めない。

■社会人として、組織人として、更には人として、誠実性及び倫理観を、そして法人に於いては職員教育研修を明確にし、キャリアアップ出来る教育体制を図ります。

①キャリア段位システムに取組み、評価者を増やし、世間から認められる専門職体制を図ります。

②階層別を整理し、それぞれに応じた指導育成を図ります。

以上を「ハッピー大作戦」と称し、実践します。

社会福祉法人 慶生会 理念

高齢者や障がいのある人が共に社会の一員として可能な限り、充実した普通の生活を送る事が出来るように、共に支えあう心“共助の精神”をモットーに身体・精神の両面から一視同仁の援助を行ってまいります。

平成 30 年度の法人主張は・・・「識」(しき)

・・・見分け知ること、対象を識別する心のはたらき(考え・意見)

○〈知識〉・・・ある事項について知っている事。

○〈認識〉・・・物事を見定め、その意味を理解する事。

○〈見識〉・・・物事の本質を見直す、優れた判断力、見方、識見の事。

福祉サービスという専門的な領域の中で、求められる価値観及び意義を高める為。

社会福祉従事者としての〈知識〉、そして各自の担当業務のもつ意味の理解と数字に対する

〈認識〉をもち、物事の本質を見直し、対象を識別(区別・判断)する力、すなわち

〈見識〉を取得する事を本年の職員全員の主張(目標)と致します。

業務遂行の心得

良識を養い、実践を学び責任を重んじる。